

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和10年03月30日

計画の名称	持続可能な集約連携都市への再構築												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	札幌市												
計画の目標	札幌市では、札幌市都市計画マスタープランにより「持続可能なコンパクト・シティへの再構築」を目標に掲げ、都心部や地下鉄沿線などの地域の中心となる拠点において、多様な機能の集積を図ることで、高密度で質の高い複合型の市街地を形成し、効率的に都市サービスを受用できるコンパクトな都市の形成を目指している。このうち、最も中心的な拠点となる都心については、商業機能や娯楽機能などに加え、芸術文化機能、高度情報機能、集客交流機能等のより高次な都市機能の集積を図るとともに、「創成川以東地区」について歩いて暮らせる質の高い生活の場としての再構築を目指す。こうしたまちづくりの実現に向け、創成川東西地域をつなぐ創世交流拠点において、札幌における多様な文化芸術活動の中心的な拠点となる市民交流複合施設を整備する。これらの公共施設整備に併せて、地域の生活利便施設と都市機能の集積を推進する再開発等への積極的な支援を行い、創成川以東地区のまちづくりの効果を高め、コンパクトシティの創出に貢献する。さらに、都市機能の集積と併せて、創世交流拠点と公共施設等を含むエネルギーネットワークを構築することで、都心の防災性の向上を図り、都心の多様な機能の集積と人々の回遊性の向上に貢献する。また、公共交通を基軸とした交通体系を実現するため、地域交流拠点として位置付けている白石地区において、区役所などの公共機能や商業・業務・医療などの中核的な都市機能の集約化など、官民協働による拠点整備の実施にあわせ、札幌市総合交通計画に基づき交通結節点の機能強化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	35,108	A	31,297	B	0	C	3,811	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	10.85	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H25		H31末
1	住民基本台帳人口を根拠とした、対象エリアの居住人口の増加数 居住環境等の充実が図られることによる居住人口	6518人	人	7072人
2	創成川以東地区と創世交流拠点間を往来する2交差点の平日昼間の歩行者交通量(通勤通学目的を除く私用目的)の合計 都心部における生涯学習施設の整備による日常生活における「回遊する人」の数 歩行者交通量(平日昼間歩行者量)	5638人/8時間	人/8時間	6221人/8時間
3	創成川以東地区と創世交流拠点間を往来する2交差点の歩行者交通量(休日の私用目的)の合計 多様な機能や多くの人が交流する空間の集積による「回遊する人」の数 歩行者交通量(休日昼間歩行者量)	6118人/12時間	人/12時間	6804人/12時間
4	対象事業で整備する駐輪場整備台数 対象事業で整備する駐輪場整備台数	0台	台	2079台
5	地下鉄白石駅の1日当たりの乗車人員 交通結節点機能強化による地下鉄白石駅の利用者数 乗車人員	11375人/日	人/日	12500人/日

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
システムの仕様により、計画期間がH27～H31の5ヵ年となっているが、実際はH26～H31の6ヵ年 システムの仕様により、計画の目標に文字数制限があるため、一部を抜粋して記載。原文は添付計画書のとおり。												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	札幌市	直接	札幌市	—	—	創世交流拠点・創成川以東地区都市再生整備計画事業	市民交流複合施設等	札幌市	■	■	■	■	■	6,951		—	
													小計					6,951		
住環境整備事業	A16-002	住宅	一般	札幌市	間接	組合	—	—	北3東11周辺地区市街地再開発事業	住宅、商業 2.1ha	札幌市	■	■	■	■	■	2,390		—	
		事業期間：H33まで																		
	A16-003	住宅	一般	札幌市	間接	組合	—	—	札幌創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発事業	公益施設、業務等 2.0ha	札幌市	■	■	■			14,560		—	
	A16-004	住宅	一般	札幌市	間接	組合	—	—	北4東6周辺地区市街地再開発事業	公共施設、住宅、医療福祉等 4.1ha	札幌市	■	■	■	■	■	5,705		—	
		事業期間：H32まで																		
													小計					22,655		
市街地整備事業	A13-005	都市交通	一般	札幌市	直接	札幌市	—	—	白石駅地下駐輪場整備	公共駐輪場779台	札幌市	■	■				217		—	
		環境モデル都市（提案都市）																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-006	都市交通	一般	札幌市	直接	札幌市	—	—	地下エントランス広場整備	地下広場等555㎡、エレベーター1基	札幌市	■	■				94	—	
	A13-007	都市交通	一般	札幌市	直接	札幌市	—	—	歩行者通路等公共空間整備	歩行者通路、屋外広場	札幌市	■	■				0	—	
											小計						311		
住環境整備事業	A16-008	住宅	一般	札幌市	間接	個人	—	—	大通東4地区優良建築物等整備事業	医療 0.2ha	札幌市	■					200	—	
	A16-009	住宅	一般	札幌市	間接	組合	—	—	札幌創世1.1.1区北1西1地区都市・地域再生緊急促進事業	公益施設、業務等 2.0ha	札幌市	■	■	■			775	—	
A16-010	住宅	一般	札幌市	間接	組合	—	—	北4東6周辺地区都市・地域再生緊急促進事業	公共施設、住宅、医療福祉等 4.1ha	札幌市		■	■	■	■		190	—	
	事業期間：H32まで																		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	札幌市	直接	札幌市	—	—	市民交流複合施設アート センター整備事業	スタジオ、会議室、研修室	札幌市	■	■	■			805		—
		A10-001とあわせて、文化芸術活動の企画・調整・運営、市民の文化芸術活動の支援を行うスタジオ・会議室、研修室の整備を行うことで、文化芸術の拠点形成を促進する。																	
都市再生整備計画事業	C10-002	都市再生	一般	札幌市	直接	札幌市	—	—	市民交流複合施設屋内広 場等関連施設整備事業	屋内広場	札幌市	■	■	■			2,694		—
		A10-001とあわせて、屋内広場の整備を行い、市民交流複合施設の各機能の相互連携による魅力の向上や施設利用者の利便性向上を図る。																	
都市再生整備計画事業	C10-003	都市再生	一般	札幌市	直接	札幌市	—	—	創世交流拠点周辺街区エ ネルギーネットワーク整 備事業	地域冷暖房受入設備	札幌市		■	■	■		312		—
		A10-001とあわせて、創世交流拠点周辺街区において、公共施設等を含むエネルギーネットワークの構築を行うことで、災害時の自立機能の強化を図る。																	
											小計						3,811		
											合計						3,811		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 札幌市まちづくり政策局事業推進課	事後評価の実施時期 令和2年度
	公表の方法 市ホームページにより公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・創世交流拠点・創成川以東地区都市再生整備計画事業や札幌創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発事業等の完了に伴い、周辺地域を回遊する人の数や居住人口が増加した。また、このような状況から、本事業の対象エリアである創成川以東地区やその周辺エリアについては、一定程度、居住環境の充実やまちの魅力の向上に繋がったものと考えられる。今後、北3東11周辺地区、北4東6周辺地区の市街地再開発事業及び苗穂駅北口西地区優良建築物等整備事業の完成により、さらに周辺地域を回遊する人の数や居住人口の増加が見込まれる。 ・地下鉄白石駅については、歩行者通路や、屋外及び地下広場の整備、駐輪場設置等により、利用者数が大幅に増加した。このような状況から、当該駅利用者の利便性や満足度のほか、交通結節点としての機能も一定程度向上できたものと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・創成川以東地区では、「さっぽろ下町づくり社」が設立されるなど、地域におけるまちづくりの機運が向上している様子が見られる。また、地下鉄白石駅の地下広場では、ハンドメイド雑貨のマーケットイベントが開催されるなど、地域の賑わいづくりに関連する取組が増加している様子が見られる。

○特記事項（今後の方針等）

本事業で整備した施設の適正な維持管理のほか、より一層の施設利用を促すため、主に、以下のような取組を進めることとする。

- ・市民交流複合施設のほか、JR苗穂駅周辺地域、地下鉄白石駅等に整備した新たな施設については、予防保全の考え方による計画的な修繕や改修の実施方策を検討し、快適な利用環境の維持を図る。
- ・都心部については、回遊する人口の増加を図るため、都心部を歩きたくなるまちなかとするため必要な取組の検討を行う。
- ・市民交流複合施設について、より多くの利用を図ることを目的として定期的に行っているニーズ調査について、今後も継続的に実施することで、利用者ニーズに配慮した改善の検討を行う。
- ・JR苗穂駅や地下鉄白石駅の施設利用者の快適な利用環境の向上に向け、必要な取組の検討を行う。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	7072人	都市再生整備計画事業として整備した日常生活を支える情報発信拠点となる図書館・多目的ホール等から成る複合文化施設、近隣エリアの地下歩道整備及び市街地再開発事業等により、居住環境が充実した。これにより、創成川近隣地域を中心として周辺地域の居住人口が増加した。
	最終実績値	8907人	
2	最終目標値	6221人/8時間	都市再生整備計画事業として整備した札幌市民交流プラザ（計画時名称：市民交流複合施設）や駐輪場、北1西1地区市街地再開発事業等の整備により、従前値と比較すると都心部を回遊する人は増加したが、目標達成には至らなかった。
	最終実績値	5969人/8時間	
3	最終目標値	6804人/12時間	都市再生整備計画事業として整備した札幌市民交流プラザ（計画時名称：市民交流複合施設）や駐輪場、北1西1地区市街地再開発事業等の整備により、従前値と比較すると都心部を回遊する人は増加したが、目標達成には至らなかった。（指標設定のもとになる、休日12時間歩行者交通量の集計に誤りがあったため、H25時点の当初現況値を7524人/12時間、当初最終目標値を8329人/12時間として集計しております。）
	最終実績値	7858人/12時間	
4	最終目標値	2079台	都市再生整備計画事業として整備した苗穂駅北通、北3条通の駐輪場及び北1西1自転車駐車場のほか、白石駅地下駐輪場整備により、成果指標としていた駐輪場整備台数の達成に繋がった。
	最終実績値	2464台	
5	最終目標値	12500人/日	地下鉄白石駅における歩行者通路や、屋外及び地下広場の整備、駐輪場設置等により、利用者の利便性向上が図られ、利用者数が大幅に増加した。
	最終実績値	14290人/日	

(参考図面)

